

病院からのお知らせ

- * 11月1日からインフルエンザワクチンの接種を開始しております。手続等は例年通りです。
予約は不要です。市町村からの問診票をお忘れなく。詳細は各科外来にお尋ねください。
- * 5月から電子カルテシステムが稼働しております。当初は、特に外来受付の時に、ご面倒をおかけしたようです。その電子カルテでは患者さんのデータを経時的グラフで表示することもとても簡単にできます。たとえば、この1年間のコレステロールの変化を見たい、などという時は主治医にご相談ください。その場でグラフ提示ができると思います。
- * 肺炎ワクチンの予防接種を行っております。ご希望の方は各科外来に申し出てください。予約制になっております。
- * 亜急性期病床は14床分準備してあります。リハビリテーション中心で少し入院期間が長くなりそうな方向けの病室です。ぜひご利用ください。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。
骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみたいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。
骨年齢：あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。
- * MRIで脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながることがあるからです。また、脳動脈瘤（くも膜下出血の原因となる）の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。
無症候性の病変（症状はないけど梗塞がある）がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。
- * MRIは腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします
近年乳がんが増加傾向です。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。
- * 肝臓病、糖尿病、脳神経外科、難病などの特殊外来は診察日が決まっておりますので、診察希望の方はあらかじめご確認ください。
- * 物忘れが気になるかたは神経内科外来にご相談ください。早期治療が進行を遅らせることができることもあります。

秋のひと時 別府政隆

暦の上では秋である。秋と云えば1年を通じて、最も過ごし易い季節でもある。併し、今年例年になく猛暑が続く熱中症に悩む人も少なくなかった。また、農家にとっては稲の取り入れ期において降雨に見舞われ、収穫が終わっていない。例年ならば取り入れも終わりホッと一息する頃なのだが。そして、秋の風景を眺めながら、これまでの疲れを癒すのです。

野山の木々も紅葉に染まり、澄み切った秋空は実に絵に書いたような季節でもある。秋は食欲の秋と云うが、私達農家にとっては農繁期での疲れを癒す時期でもあるのです。今日は、妻と文化祭に行く事でした。大勢の人が集まっていた。唄や、踊り、五つ太鼓、三味線等、にぎやかだった。なかでも80歳すぎた高齢者のコーラスや、小学生の民謡は私たちの心を癒し、楽しませてくれたのです。去る11月6日は薩摩川内市のはんや祭りが行われた。友人を誘い、妻と3人で観に行った。従姉妹も元気よく太鼓をたたいている姿があった。

併し、その夜の事、急に呼吸が苦しくなり病院へ搬送したが、亡くなった。66歳。廻りのみんなが驚いた。数時間前まで、あんなに元気だったのに、今でも信じられない。人の命は、そう思うと、やはり健康管理は大事である。高齢者は特に、交通安全は勿論、日頃の健康管理も自分自身注意すべきではと思います。明日への幸せを祈り、お互い頑張りましょう。

短歌 瀬戸よし子

車窓より見える稲田は穂の出揃いですでに色付く区画もありぬ

毬栗がたわわになりし庭先に老犬一疋繋がれて居る

TPP カラーマン（とその女）

「平成の開国」という言葉が、やっとやめてくれてホッとした、とみんなが胸をなでおろした民主党2番目の総理の口からでて以来、何が何だかわからないままにTPPという3文字が独り歩きし、連日マスコミを賑わせている。今年の正月にはそんな言葉は一言も出てこなかったぞ。

(そういえば、今振り返ると、民主党の総理大臣はほんとうにろくでもなかったわね。総理大臣を辞めた後は国会議員もやめるといった一番目の総理大臣の鳩山さんのカッコよかったこと。感動的に潔し。国連総会で二酸化炭素25%削減を宣言して万雷の拍手を浴びる姿の颯爽たること、やっと国民として誇れる総理大臣をもてた、と感動したものだ

ったわ。ああ、それなのに、それなのに。総理大臣がここまでうそを言ってもいいものかしら、と正直思うなあ。なぜ、いまだに国会議員をつづけていられるんだろう。普天間基地を最低でも県外へと云った本当の理由があるのかしら。私たちは、日頃接していないからわからなくて当然だけど、日頃から見知っておきながら、ああいう人を党の代表にえらんだ時点で、本当は民主党の実態をみぬくべきだったのよね、今から思えば。ママから月に 1 千万円以上のお小遣いを貰ってた人に、国民、庶民の気持ちが分かるはずもないわね)

さて、TPP。賛成派と反対派、どちらも自分の側からの見方しか云わないから、何も知らない我々は、賛成派の云う話を聞くと、そうだ、その通りだ。資源のない日本は世界に開国してこそ生きる道があるのだ、と賛成派になる。つぎに、反対派の話を聞くと、輸出をしまくって一部の企業が儲かっても何にもならん、日本人の魂でもある日本農業が壊滅したら日本はおしまいだ、と反対派になってしまう。

そもそも賛成派の急先鋒が輸出企業、反対派のそれが農協であるのだから、これだけですでに双方の言い分は推測できるくらいある意味では単純な選択肢であるのだ。
(それはそうだね。利益ばかり追求する輸出企業にも、農民から甘い汁を吸ってきた農協にもどこか共感を持ってないのよねえ。その辺がどちらにもつけない理由かしらね。)

そうすると企業でも農協でもない立場で立ってみる必要があるだろう。建設業の立場、医療・介護の立場、保険の立場、郵政の立場などいくつかの立ち位置があるようだが、それぞれの立場で賛成、反対を表明してもそれぞれの意見で終わってしまいそうである。

そこで、あえて日本国民の立場で考えてみよう。

おばか総理大臣が第 3 の開国と云っていたが、そもそも第一の開国の象徴であるペリー提督の黒船は、一つには捕鯨船の補給基地としての港の確保と、二つ目には他の欧州諸国に比べて出遅れた帝国主義拡大のために日本に姿を現しただけに過ぎない。アジアの植民地化に遅れたアメリカという構図があった。

別に、長年続いた武士の社会ではこれからのグローバリゼーションを乗り切れませんよと、江戸幕府に忠告するために浦賀に姿を現したわけではないのだ。その後は、自国の奴隷解放のための南北戦争に忙殺されて、ゆっくり日本に構っている暇がなかった。
(それにしても、そのころまで奴隷制度があったなんて、なんて非常識で野蛮で自己中心的な国民なのかしらって思っちゃうわよね、アメリカで)

そういう国を自由の国メリケンだといって憧れた坂本竜馬も完全に情報不足だったなあ。奴隷制度は、土佐の下士の身分制度がどうのこうのと云っているのと遥かにレベルが違っている。けた違いに酷い制度だったのだ。思えば、黒人が白人と同じバスや同じレストランに同席できるようになったのも、第二次大戦後 20 年近くたってからなのである。アメリカ人の言う自由の薄っぺらさが透けて見える。みなさんは、クンタ・キンテを覚えていますか。(テレビドラマ ルーツの主人公)

ヨーロッパ人に唯一対抗できた有色人種（アジア人）として、あるいは、遅れて来た帝国主義国家として大日本帝国が成長し、また一方で行き詰りかけたころ、最後通牒としてのハルノートや、明らかに弱いものいじめであった ABCD 包囲網などで、日本人をおいつめ、どう国力からみてもアメリカ人が負けるはずのない戦争に単純でお馬鹿な昭和時代の日本軍国主義者を引きずり込んだのがアメリカである。
(でも、調子に乗ったお馬鹿な軍人さん達を支持したのも、また現在の中身の無い民主党を支持したのもわれわれ国民であるということは忘れてはいけないわね。)

作戦成功。野蛮な黄色い人種には原爆というおまけまでつけて、たっぷりお灸をすえてやることができた。ウラニウム型もプルトニウム型の実験もできたし、人類初の悪魔の兵器を現実を使うことができる幸運に恵まれたなあ。まさか、本当に 2 回も、しかも、多数の市民が生活している都市のど真ん中に使用できるとは、まさに戦争は勝ってなんぼのものやなあ。殺傷力、破壊力、放射能被ばくのまさにうってつけの実験だったわ。だけど、こちらも結構疲れたし体力消耗したから、もう面倒だし、二度と黄色いサルたちが逆らわないような仕組みは作っておこうぜ。

そもそも軍隊がなければ、何にも怖いところはないのだから、平和憲法を作って軍隊を持たせず戦争放棄をさせとけばいいか。ま、どうみても 5 年か 10 年位の取り繕い憲法だけどとりあえずはそれでいいや、というアメリカのつぶやきが遠い時空を超えて聞こえてくる。

(そうやってできた憲法を、戦後 65 年間も後生大事に抱えて来たのだから、本当に日本人てお人よしと云うか、バカと云うか、ちょっと普通じゃないわね。ついでにいえば、賢い官僚たちや優秀な技術者も戦後の公職追放で仕事をおわれ、その下に居た戦前・戦中役立たずだった 2 流の人たちが急に彼らの地位を引き継ぎ、威張ったりうまく立ち回って儲けたりしたのもものね、公職追放を実施してくれたアメリカ人に媚を売りつつ、また感謝しながら……。アメリカ人は本当に賢いわねえ)

世界に誇る平和憲法だ、とっている幸せな人々の存在までも彼らは想定していた可能性がある。なにしろ戦後そういう教育を GHQ の指導の下でやり、そういう人間をそだ

ててきたのだから。「進歩的文化人」がその集大成であろう。

まあ、そういう大きな国民同士の流れというか関係でいうとアメリカの提案がまともだったことはない。少なくとも、相手の立場を考えてアメリカが動いてきたことはない。TPP もその流れの中でとらえると、日本も少しはおこぼれがもらえるかもしれないが、根本的にはアメリカのいつものご都合主義、自己中心主義そのものであって、下手をすると日本の存在そのものを脅かす危険性があると思われる。モノ、カネはまだ許容できるがヒトは許容できない。

日本列島は日本人だけで維持していけばよいのである。民族のグローバリゼーションはいらない。移民で失敗した欧州諸国を他山の石としよう。モノは入ってきて構わないが、ヒトは困るという共通の認識が必要である。カネの亡者の企業経営者は出来るだけ安い人件費が良いから、人件費が安ければ日本人をクビにして外国人を雇うであろう。

今でも高い賃金を日本人に払いたくなくて日本国を見捨てて、アジアや中国に進出して人件費を節約して儲かっている会社をごまんとある。何故の企業活動であろうかと思ってしまう。企業の社会的使命はないのであろうか。

(鹿児島県でも大手の有名な製造業の会社は何百人も何千人も従業員をクビにして、経営効率をはかってきたのが事実だわ。)

誰のための会社だろうか、誰のための国家だろうか。経営者のための会社、政府・官僚のための国家になっているのが現実であろう。そういう現実だと認識する限りにおいてはやはり TPP には反対したくなるのだ。どうみても、3 人目の民主党総理の云う国益は国益＝国民の利益でないことはたしかなようだから。

(TPP に参加しようが、しまいが、わが日本の底力からいうとどちらであっても上手く乗り切れるのでしょうけどね。TPP は将来を左右するほどの大した仕組みではないとおもうのだけどなあ・・・)

編集後記

本当に一年で早いんですね。何事かをなすこともなく、何者になるでもなく、日々が過ぎていきますが、これが人生ということなのでしょう。日々と季節の繰り返しの中で日本列島に生まれ育ち死んでいく、と云うのは実は世界を見渡せばとても幸せなことなのかもしれないと思ったりもします。欧州でもエジプト、リビアなどジャスミン革命の国々でも、平穏な日々はなかなか訪れてきてくれないようです。日本に生まれて良かったとしみじみ思う昨今です。(KT)